

令和3年度シラバス（教科・科目：芸術・美術Ⅰ）

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	必履修

教科書	学習書・他教材
高校生の美術1（日本文教出版）	なし

学 習 目 標
美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

学 習 計 画		
学習項目	学 習 内 容	評価方法
1. 木製カトラリー（彫刻）(20) ・スプーンづくり	○スプーンのデザイン、木材の選択・切り出し、刃物の扱い、研磨、鑑賞	授業態度 課題の提出 作品の完成度
2. 色面構成（デザイン） ・感覚を色で表現する(15) 〈35時間〉	○色採の学習、画面構成、ポスターカラーでの彩色、鑑賞	
3. 張り子技法（工芸）(17) ・仮面づくり	○張り子の技法の学習、仮面のデザイン、油粘土での原型制作、立体物への色塗り、鑑賞	授業態度 課題の提出 作品の完成度
4. 油彩画（絵画）(18) ・風景画 〈35時間〉	○絵の具の学習、油彩画の技法、鑑賞	

計 70 時間（50 分授業）

評価規準と評価方法			
評価は、次の観点から行います。			
①美術への関心・意欲・態度	②発想や構想の能力	③創造的な技能	④鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術作品を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
以上の観点を踏まえ、授業への取り組み（授業態度）、提出物（プリント課題、作品）、作品の完成度などから総合的に評価します。試験は実施しません。			

授業の進め方、課題・提出物など
授業は制作を中心に行います。各單元ごとに、計画、制作、振り返り（鑑賞）を1つのサイクルとして課題を進めていきます。試験を実施しないため、作品やプリントなどの提出物が主な評価対象となります。必ずすべての提出物を期限内に提出してください。

担当者からのメッセージ
美術Ⅰでは主に基礎的な知識や技術を学習します。上手に描いたりつくったりすること自体が大切なのではなく、「見る」、「感じ取る」、「考える」、「表す」という美術のプロセスの中で、自分が何を美しいと感じ、何を面白いと思うのか探ることを目指しましょう。美術に苦手意識がある方も積極的に参加してください。ただし、下手と雑は違います。作品は丁寧に仕上げ、振り返りまでしっかり行ってください。あまりにも雑な作品はやり直しになります。